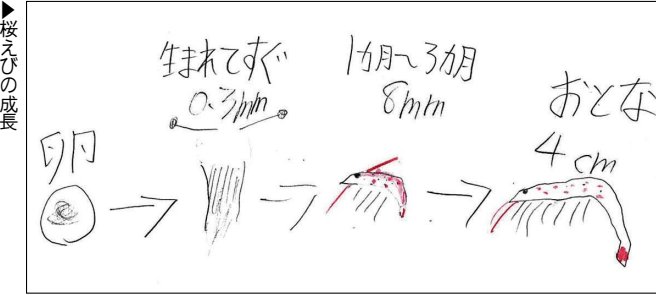


〈PR〉 海と日本プロジェクト <https://uminohi.jp/>

桜えびが減っている

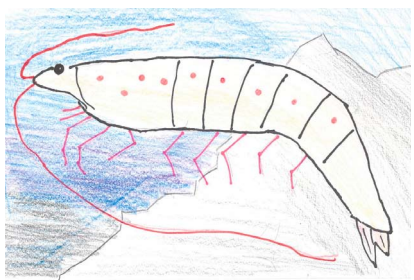


桜えびの成長
桜えびのメスは初夏〜秋に200〜30000の卵を産みます。卵の大きさは0.1mmで、また桜えびとは分かります。その後、1〜3カ月で8mm以上になり、やっと桜えびと分かるようになります。成長すると約4cmになります。

桜えびが減っている理由は謎?

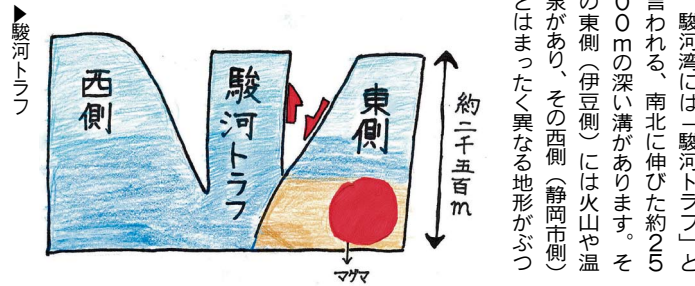
原因として、桜えびを取りすぎたことや、昔に比べて海がゴミで汚れてしまっていることなどが考えられると言われていますが、桜えびの産卵地である富士川河口の小林さんに話を聞くと、色々なことが考えられるため、主な原因を特定できず手探り状態なのが現状のことです。

そんな、桜えびを守るために、



▲泳ぐ桜えび

桜えび漁業者の取り組みがあります。競争(取り合い)をやめる、ルール制漁業を採用、産卵工を保護(春漁)、0歳工を保護(秋漁)、自主的な産卵調査(県水技研と共同実施)の制漁など、さまざまな工夫をしています。



駿河湾には「駿河トラフ」と言われる、南北に伸びた約2500mの深い溝があります。その東側(伊豆側)には火山や温泉があり、その西側(静岡市側)とはまったく異なる地形が広がっています。

深海のオアシス

深海にも温泉が湧いている所があり、熱水フィールドと呼ばれています。深海の温度は1〜2度ですが、熱水フィールドは15〜20度と温かく、有害物質がたくさんあります。深海生物は過酷な環境でも強く生きていくことに驚きました。

駿河湾には赤い魚が多いです。深海は深くとも暗いので、赤も暗く見えにくい色になります。魚にとって火山は有害物質ですが、今では火山を利用し、エネルギーにする魚が駿河湾にいます。



▲熱水フィールド

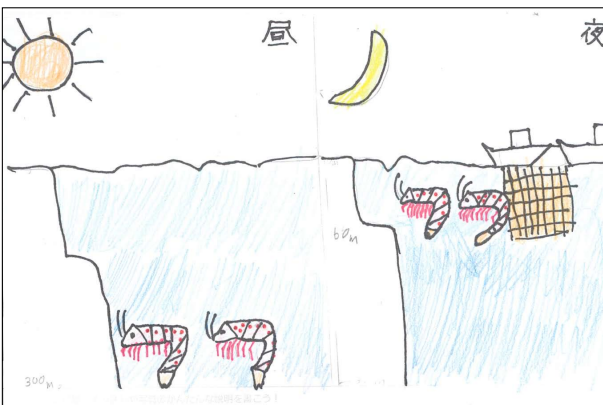
日本一深い駿河トラフ

桜えび新聞

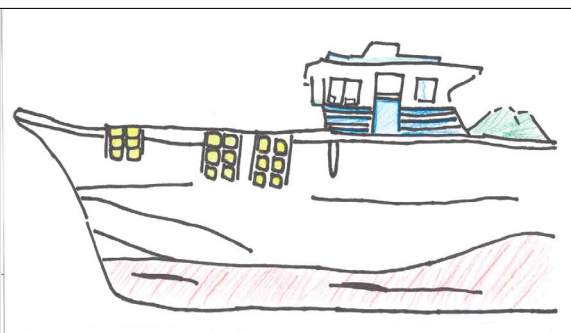


2022年
(令和4年)
9月16日
金曜日

なぜ、桜えびは駿河湾近辺にしかいないのか?



▲桜えびのルーティン



▲桜えびの漁船

桜えびは日本では駿河湾のほかに合っているところがないと考えられています。その理由として、富士川や安倍川などの川から栄養のある水がたくさん流れてくることが、深海と浅いところを行き来する桜えびの生態に地形が合っていると考えられています。

桜えびの生活

桜えびは昼の間、駿河湾の水深200〜300m辺りで休まずに泳ぎまわります。夜は駿河湾の水深20〜60mまで下りてきて、そこで餌を捕まえます。漁業者がアジを獲るときに浮き袋を忘れ、仕方なく網を投入したら桜えびが獲れたことから始まったそうです。

「海と日本プロジェクト キッズサマースクール2022 第1弾 清水由比・桜えび探求隊」のイベントが、7月27日(水)・28日(木)に行われました。県内の小学生17人が、桜えびの生態や取り巻く環境について学び、桜えび料理にも挑戦しました。スクールの最後には各クラスで新聞記事を作成。2日間の学びをまとめたものを一部ご紹介いたします。

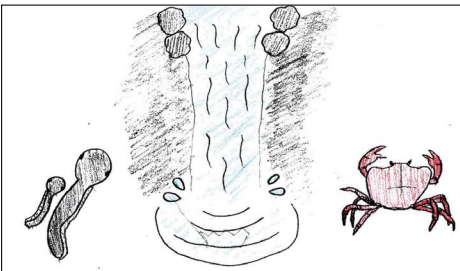


川が汚れると海も汚れる
川と海のつながり

川が汚れると海も汚れる。それは川の水が海に流れていくからです。

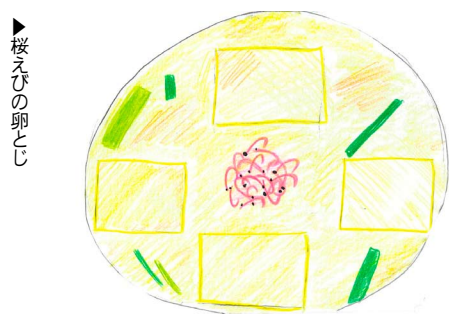
ラフティングをして、さまざまなものを目にしました。例えば、大きな滝や流れの速い川、カニやオタマジャクシなど、どれも自然から生まれたもので、とてもきれいでした。ラフティングを体験して、川と海のつながりが分かりました。

富士川は南アルプスから流れている大きな川で、桜



▲自然が作ったもの

ご当地漁師メシ



漁師が漁から帰った時にサツと調理できず、食べられるのが、桜えびの卵とじ! 昔は桜えび漁が朝まで続いたので、豆腐屋さんしか店が開いてなかったそうです。そこで帰って来た野菜、桜えび、豆腐を入れて煮てすぐできる「漁師メシ」を楽しんだそうです。



夕飯で桜えびの生・ゆで・干したつくだ煮、3種類の食べ比べをしました。みんなに聞いたら、第1位は生、第2位は干したつくだ煮、第3位はゆで、でした。(写真手前) 右から生、ゆで、干したつくだ煮 (上)かき揚げ



自分たちで揚げたかき揚げをアツアツのうちに食べました。こんなにいっぱい桜えびが入ったかき揚げは初めて! おすすめはアツアツのうち食べるそうです。

桜えびは海のルビー

いろいろな工夫をして食べられている桜えびは、「海のルビー」と言われています。静岡県由比の宝物。桜えびの減少を止めることを考えて、守っていきたく思います。

※記事は、同プロジェクトに参加した子ども達が書いたものを再構成したものです。多少の不体裁や間違いを含めてお楽しみください。